

昭和52年5月25日 第3種郵便物認可 令和2年5月10日発行（毎月1回10日発行）



世界の円満
人類の福祉

THE ENPUKU

5月

2020 No.476



世界法民連帯 円福友の会

円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもいやり』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

表紙の写真

円福友の会が寄贈した井戸の水をタンクに上げて、水道の蛇口から出た水を如雨露に入れて作物に冠水しています。

円福友の会の支援により作物とともに子どもたちが育っていく姿を見ることができます。

後ろに見える建物は、円福友の会寄贈トイレです。

5月号の内容

にこにこ法話 新型コロナウイルス	1 p
エコ村支援 ナチュラル小学校からの便り その8	3 p
タイ・スラム街支援	8 p
事業報告	12 p
事業計画	13 p
決算報告	14 p
予算	15 p
敬愛信	16 p



新型コロナウイルスの感染が日本中に拡大して、非常事態宣言が出されました。皆様もきっと感染予防に努められていくことと思います。

感染予防には、上田高校の同窓生の皆さまから紹介された資料が役立ちました。

二月に感染が始

新型コロナウイルス

感染症の症状による違い、知っておきたい（発症してからの）

来教授が中心になって作成された、「新型コロナウイルス感染症 市民向け感染予防ハンドブック」を読んで対策を考えました。とってもわかりやすかったです。

四月になって、諏訪中央病院の玉井道裕医師が作成された「新型コロナウイルス感染症をのりこえるための説明書」を知りました。

地方版、全国版、説明書（前編）、説

明書（後編）の四部作です。どれも、手書きです。分かりやすく親しみやすい手書きのイラストが入っています。子どもたちの喜びそうな「間違い探し」もあります。ぜひインターネットで検索して、ご覧になってください。新型コロナウイルスとはどんなものか、感染力は何日間保たれているのか、さまざまな呼吸器

時間経過など、とってもわかりやすいです。「知識がないと丸腰の状態 知識を身につけると戦える」とあります。その通りだと思います。

玉井医師の素晴らしいさは、全国版の結びに書かれた言葉で分かります。

諏訪中央病院のご許可をいただき、掲載しましたのでご覧ください。

ニコニコ法話

素晴らしいお医者さんですね。心より敬意と感謝を申し上げたいと思います。

みなで力を合わせて感染防止に頑張らしましょう。

最後に

私の説明文を読んでもらった人、拡散してくれた人、

お手紙を送っていただいた方々、本当にありがとうございます

そして、この説明文を書く時間を作ってくれた

家族に感謝します

お弁当を作ってくれてありがとう

夜遅く帰ってきて、「おかねり」と言ってくれてありがとう

今も病床の最前線で戦っている人達がいます

そして、その人達を支えている人のおかげで今の生活があります

感謝しかありません

お互いつかい時代を生きています

まだまだ、このウイルスとの戦いは、

はじまったばかりです

こんな時代だからこそ、

感謝の気持ちだけは、忘れずにいたいと思います

2020.4.19 玉井道裕



エ コ 村 支 援

エコ村支援 ナチュラル小学校からの便り（その8）

円福友の会顧問 吉田恒昭

今年の2月に入ってから、ソファットさんか
ら思いもかけずに驚きのニュースが入ってきま
した。これまでも触れましたが、ここ数年間ソ
ファットさんは友人と始めたビジネスの業績が
思わしくなく、併せて体調も悪くなり、エコ村
にこれまでのように足繁く通うことができま
せんでした。従って、友の会が予定していた井戸
の設置や児童図書などの整備の支援が頓挫し
たままになっています。ところが、そのソファッ
トさんへナチュラル小学校のサロン校長先生か
ら久しぶりにメールが送られてきて、そのメー

ルに添付されていた沢山の写真が藤本住職と
筆者に転送されてきたのです。これらの写真は
私達には大いなる喜びを与えるもので、ここで
友の会会員の読者の皆様とともに、何がナチュ
ラル小学校で起こったのかを一緒に見ていき
たいと思います。

ことの起こりは、一昨年にルース先生がナ
チュラル小学校に赴任してきたことからしま
りました。ルース先生は還暦を過ぎたベテラン
代用教員だそうです。赴任するやいなや、ルー
ス先生は学校農園でのサロン校長先生を中心
として篤農家達が協力し合う姿を見て大いに
感心したそうです。そして、ルース先生は皆で
集まって楽しめる食事会のようなイベントがで
きないものかと他の先生たちに持ちかけたそう
です。

学校祭の企画：このルース先生の提案に対して、

小学校近隣コミュニティの村の指導者、篤農家たち、そして児童の保護者たちと相談の結果で決まったことは、①村全体で寄付を募り、食事会だけでは大儀名分が薄いので校門入口の危険な道路整備と校庭を平らにする。②植樹をする。③食事会には児童と保護者のみならず、僧侶、近隣学校の先生を招待する。④テント、テーブル、椅子などをレンタルする。⑤食料料理当番は母親たちがボランティアで行う。⑥開催日は1月27日の午後から28日昼までとして、食事の提供は順番制にするなどでした。この学校祭への参加者合計は217名の児童、保護者約100名、そして7人（うち2人は女性）の先生、僧侶4名、役場の人たち数人、隣の学校の先生などです。そして、これまでも学校を慈善訪問し学校支援をしてくれたシエムリエップの慈善団体も招待しました。この団体は児童達に文具を持参寄贈し、併せて児童一人当たり2,000リエル（約50円）のお小遣いを配ったそうです。もちろん児童達には望外な喜びで沸き立ったそうです。

村人たちによる寄付金集め：何はともあれ資金集めです。村人からと招待者からの寄付は予想以上に多くて、総額はなんと270万里エル（米ドル換算で675ドル）約7万5千円）も集まったそうです（写真①）。参加者総数が約300名と多勢なので、どうしても食事会の準備（テント、椅子、食料材料など）に約500ドルが必要でした。校門入口と校庭整備普請事業はダンブとトラクターを借り受けました。

村人の参加協力：先ずは、村人の協力です。



② マンゴー苗木寄贈のラットさん



① 寄付の報告をするルース先生(右)



③ ラットさんが植樹指導



④ 母親たちが300 食の料理当番

ここでも篤農家ラットさんの出番でした（写真②）。彼は自宅農園で育苗したマンゴーの苗を30本も近所の人たちとリヤカーに積んで運んで来て植樹イベントを盛り上げてくれました。坊さん見習を指導しているラットさんが写真③です。村人達の積極的な共助と布施心が随所に見てとれて何とも嬉しい写真です。2014年の第2回田福ツアーに参加した富沢孝ご夫妻がお手植したマンゴーの木々はその後も植樹され続けて今や十数本のマンゴー果樹園となっています。果樹の管理はそう簡単ではない

ようで、学校が休暇中には日照りや動物食害で数本は枯れてしまったそうですが、有機肥料を与えてすくすくと育ち、毎年3月から6月にかけてたわわに実をつけています。
食事会：食事作りは大仕事だったようです。300人分の食事を27日の午後から28日の昼までローテーションしながら提供しました。写真④で見る料理用鍋の大きさにはビックリです。食事会用のレンタル業者が直ぐ近くの町にあるそうです。その業者からは大きなテントとテーブルが10卓、各テーブルに10脚の椅子で合



⑤ 大人も子供も楽しそう



⑥ 隣の学校の先生達も参加

計100脚を借り受けました。合計100人が一緒に座って食事ができることになります。料理当番の母親グループは大変な作業だったと思われるのですが、写真からは和気あいあいの様子が見て取れます。メニューはクメール米粉うどんとスープ、そして御飯とスパイシーカレーで、全ての参加者たちに振舞われました。食事は大盛況で、参加者にはこぼれんばかりの笑顔が溢れているのがとても印象的です(⑤⑥)。

普請工事：公道から校門への入り口に小水路が横切っているために、今までは木製の危険な渡り板を児童は歩かねばなりませんでした。この小水路をコンクリート製のリングを埋めて暗渠にし、そこに土を盛って公道と繋げました(⑦)。これで小水路板橋を無くし児童達は安全に校門を通り抜けることが出来るように



⑦ 校門前の暗渠



⑧ 校庭整備するダンプカー



⑨ 校庭整備するブルドーザー

になりました。また至る所が凸凹になっていた校庭を平らにするともに拡張もしました。これらの土木工事にはトラクターとダンプをレンタルしたそうです。恐らく運転しているのはエコ村の住民でレンタル料金はたったの150ドル(約16,000円)だったそうですから、きつと特別格安料金での普請工事だったと思われる。

この学校祭にはもちろんエコ村のパゴダから4人の僧侶が招かれました。カンボジアでは大昔から、集落が形成し始めると、必ず溜池

とパゴダ（お寺）が造られます。ですから村の名前は寺の名前と同じになることが多いのです。千年も昔のアンコール王朝時代から現代にいたるまで、パゴダは村人たちの信仰、福祉、行政の役割を果たしています。今でも村の各種イベントには必ずパゴダの住職が招かれて儀式が行われます。僧侶が話す仏教の教えが村の人々の精神世界を形成し、行動規範になっているのだと思います。カンボジアのコミュニティ、とりわけ村落共同体の価値規範の形成を仏教が担っていると思われまゝ（⑩）。

円福友の会との縁でナチュラル小学校はパゴダともより深い絆ができたようです。それ故に学校農園の収穫期にはいつもサ



⑩ 村のイベントには欠かせない僧侶

ロン校長先生を通してパゴダに収穫物が寄進されています。今年も沢山のマンゴーが実り寄進されました（写真⑪）。円福友の会会員の布施がナチュラル小学校農園での児童の農業実践学習を通して、パゴダの仏様に届けられていることに心が温まります。

（以下次号最終回に続く）



⑪ 寄進されたマンゴー

「タイ・スラム街奨学生支援」

円福友の会が支援するプラティープ財団からクロントイスラムの新型コロナウイルス感染防止の様子が送られてきました。十日の読売新聞に、新型コロナウイルスの感染拡大とクロントイスラムの状況が掲載されていました。

プラティープ財団から届いたメールです。

こんにちは。例年ですと、各学校は夏季休暇に入って、子どもたちは数日間お寺で修行したり、タイの新年（ソンクラーン）を祝う行事に参加するなど、猛暑でも幾分楽しい気分に入る日々なのです。しかしながら、昨今の深刻な感染症（COVID-19）が拡大している中、後期試験を早めに済ませて休校となってしまうました。この休暇中に行つて

いる隔週土曜日の活動や奨学生たちがいつも出入りしているコンピューター室などは一旦中止になったため、大勢の子どもたちは自宅待機に飽きて狭い路地で遊んでいます。

このような状態が長引くと、5月初旬に予定している奨学金授与式や様々な行事が開催できなくなる可能性もあります。また、奨学生たちが教育里親様を書くお手紙についてもフィールドワーカーが各地域に手配できません。

教育里親の皆さまもご健康を第一に、十分にご注意していただきたいと存じます。

プラティープ財団から、二〇二〇年度は奨

学生一〇人に合計二七五〇〇〇円を支援してほしいと依頼がありました。円福友の会として、例年と同額の五〇〇〇〇〇円を送り、残額は、コロナ感染防止に使って欲しいとお願いしました。

ブラティープ財団からの返信です。

拝啓

日頃より大変お世話になっております。

さて、このたび、藤本先生からのご丁寧なメールを拝受いたしました。

藤本先生には早速、今年度分の奨学金をご送金いただき、誠にありがとうございます。また、読賣新聞の記事を添付いただき、重ねて御礼申し上げます。

学校も暑季休暇を兼ねて休校となつている最中、地域の数人の子どもたちとス

タッフがフェイスシールドづくりなど、COVID-19 予防対策に関わる活動に取り組んでおります。藤本先生からご支援の内容を伺いましたので、地域の子どもたちには配布するフェイスシールド作成費用等、当面の必需品を準備させていただきましたと存じます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、メールの御礼にて失礼いたします。

敬具

ドウアン・ブラティープ財団

教育里親事業部 部長

サーイルン・ラックサーチヨープ



มูลนิธิดวงประทีป
DUANG PRATEEP FOUNDATION
จัดตั้ง พ.ศ. 2531

มูลนิธิดวงประทีป ถิ่นก 6 สลัมคลองมกศ อ.บางพลีใหญ่ จ.สมุทรปราการ 10110
โทร. 02-249-3553, 02-249-4880, 02-249-8842, 02-671-4045-8 โทรสาร: 02-2495254
DUANG PRATEEP FOUNDATION Lock 6 Klong Toey, Bangkok 10110
Tel. 02-249-3553, 02-249-4880, 02-249-8842, 02-671-4045-8 Fax: 02-249-5254
E-Mail : duangprateepf@gmail.com, dpf_found@hotmail.com, http://www.dpf.or.th

日本のご支援者の皆さまへ

クロントイでも新型コロナウイルスの防止に懸命に取り組んでいます

日本のご支援者の皆さま、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？新型コロナウイルスの世界的な大流行で日本でも感染者数が4,000人を超え、4月8日には東京、大阪など大都市に「緊急事態宣言」が出されるなど日々ご心配と不安のた中でお暮しのことと拝察いたしております。そしてこの心配と不安は私どもも同じ気持ちです。いや、世界のどの国に住んでいようと「COVID-19」と呼ばれるこの新型コロナウイルスが一体いつまで、どれだけ蔓延するかと怖れを抱きながら辛い日々を過ごしておられることでしょう。



でも私たちは、この未曾有の危機をお互いの智慧と努力、そして励ましと助け合いで乗り切って行けるに違いない。そう信じて、今日はタイとクロントイスラムにおける新型コロナウイルスの感染状況と、取り組んでいる対策をご報告します。



タイ政府は3月下旬、全国に「非常事態宣言」を発令し、現在、夜10時から翌未明午前4時まででは外出禁止中です。すべての学校、デパート、工場、ホテル、商店などが閉鎖となり、

当然のごとく多くの人々が失業し、そのしわ寄せはクロントイスラムの人々に押し寄せています。日雇いで働く者が多く、たちまち子どもたちの食事や勉強にも響いています。政府は「国民の生活を守る」と公言してはいるものの、毎月5,000バーツ（約17,500円・6か月間限定）の給付金を得るにはオンライン登録しなければなりません。パソコンがあるスラムの家庭は乏しく、操作方法も知らない住民が多いのです。予想失業者は2,000万人と見込まれていますが、実際に登録出来て支給されるのは500万人くらいと言われています。





มูลนิธิดวงประทีป ถีต 6 สดมคตยตย ด.อาจณวรค คตยตย กรุงเทพมหานคร 10110
โทร. 02-249-3553, 02-249-4880, 02-249-8842, 02-671-4045-8 โทรสาร: 02-2495254
DUANG PRATEEP FOUNDATION Lock 6 Klong Toey, Bangkok: 10110
Tel. 02-249-3553, 02-249-4880, 02-249-8842, 02-671-4045-8 Fax: 02-249-5254
E-Mail : duangprateepf@gmail.com, dpf_found@hotmail.com, http://www.dpf.or.th

新型コロナウイルスによるタイの感染者数は4月8日現在、2,220人、死者26人と発表されており、クロントイ区役所の報告ではクロントイスラムでも住民13人が感染しました。これ以上の感染と拡大は何としても食い止めなければならない。ドゥアン・プラティープ財団では各地区の住民組織の代表たちとも話し合い、ただちに次の5つの取り組みを開始しました。

1. 家屋の一斉消毒。スラムの家々は密集し、狭い部屋に何人かが暮らしているので特に必要です。
2. スラムに住む子どもたち、高齢者、青年を対象に感染症に関する予防キャンペーンを開始する。
3. 寝たきり老人や生活困窮者に対して食べ物や生活必需品を届ける。
4. スラム内の失業者の実状をすみやかに調査して、救済・法的手続きを促進する。
5. マスク、フェースシールド、除菌液などを準備し、配布する。



以上、私も財団の4月10日現在の取り組みをご報告させていただきます

ました。新型コロナ問題は、この先まだ収束のメドも立っておりません。日本でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、ご支援者の皆さまの毎日が健康に続いていきますよう重ねて祈念してご報告とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくご支援下さい。

なお別稿で、新型コロナの感染拡大で家計が窮乏し、日々怖れを感じながら過ごしているクロントイスラムの二つの家庭状況を紹介します。合わせてご一読ください。

ドゥアン・プラティープ財団創設者

Duang Prateep U. Hatt

2019年度事業報告

一、会費収入、SABA資金収入とも、前年を上回ることができました。会員各位のご協力を心より感謝申し上げます。

二、ドンソン小学校校舎建設のために、長野県倫理法人会から600万円のご協力と会員各位から369,000円のご寄付をいただきました。この費用により、ドンソン小学校を5万ドルでトイレを3650ドルで、その他寄付名板台座等を690ドルで建設できました。残金につきましては、有効に活用させていただきます。

三、日本人によるカンボジア人強盗殺人事件という、痛ましい事件が起きてしまいました。残されたご遺族へのお見舞いを呼びかけましたところ、1,442,533円ものご寄付をいただきました。10,000ドル(1,126,600円)を届けることができました。差額は広告料等に使用させていただきました。

四、エコ村支援は、ソファット氏への井戸掘削設置費用等の支払いが遅れていましたが、今年度に支払うことができました。エコ村の様子

は、吉田恒昭顧問により逐一報告されています。地域の皆さまの自立自助共助の力により、発展している様子を見ると、これこそ途上国支援の在り方と思います。

五、諸団体へは例年のように支援金、協力金を贈ることができました。

タイスラム奨学生支援のプラティープ財団へは2018年度分を今年度合わせて送金いたしました。支援しているクロントイスラムは立ち退き問題が起きていて、進展は予断を許しません。

六、事務経費は、例年並みでした。消費税の値上げと国際送金で振替料金が増加しました。

七、2019年度は、台風19号等により大きな災害が起きました。長野市でも千曲川堤防の決壊という、未曾有の水害が起きました。決壊現場にはたくさん壊された建物や泥が残りました。大勢のボランティアの皆さまの復旧作業を本当にありがとうございました。義捐金の届け先は1月号に報告しました。2019年度に届けられなかった義捐金は2020年度中に長野市へ届けます。

2020年度事業計画

新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大しており、2020年度の円福友の会の活動は見通しが立たない状況です。カンボジアやクロントイスラムは衛生状態が悪く、医療体制も整っていないので心配です。今の状況はキムさんやプラティープ財団からのメールをご覧ください。

カンボジアでは県境を越えての移動はできず、ドンソン小学校のトイレ建設や、寄付者名板を埋め込む石塔の設置が滞っています。エコ村への移動もできない状況です。

これらの状況を見つつ、できる支援を継続します。

一、諸団体支援協力、被災地支援、スラム街奨学生支援、おもいやりの会協力等は例年通りに進めます。

二、カンボジア支援は、キム氏やソファット氏とのメールのやり取りで、現地の状況を知り、皆様にお知らせいたします。それを、感染が終息したときの支援につなげます。

三、2020年度は校舎建設を予定していませんが、ドンソン小学校校舎建設の剰余金等を校舎建設基金として、次年度以降につなげたいと思います。

四、エコ村支援は、現地の皆さんによるエコ村の発展を見守りたいと思います。そして、地元の人々の力を引き出す最も効果的な支援を行います。そのために、現地コーディネーターのソファット氏と、キムホン氏の一層の協力を得たいと思います。

皆さまのご寄付は、SABA運動の趣旨にのっとり、世界中の困っている人々のために有効に活用いたします。

2019年度決算 (2019/4/1 ~ 2020/3/31)

収入の部	2019 決算	2018 決算	差 (2019-2018)	備考
繰越金	4,545,622	3,943,287	602,335	
会費	1,939,000	1,734,000	205,000	
S A B A 資金	2,682,435	2,161,884	520,551	
校舎建設資金	6,269,000		6,269,000	
エコ村支援	240,300	166,560	73,740	
遺族見舞金	1,422,533		1,422,533	
義捐金	1,020,000	167,000	853,000	
大黒天祈祷料	167,000	244,800	▲ 77,800	
その他	36,346	214,909	▲ 178,563	2018 はキムさん招聘補助
収入合計	18,322,236	8,632,440	9,689,796	
支出の部	r1 決算	h30 決算	差 (r1-h30)	備考
カンボジア支援関係	8,383,285	990,667	7,392,618	
校舎建設	6,007,534		6,007,534	トイレ、台座、看板代含む 計 54,340 ドル
エコ村支援	733,537		733,537	井戸、ソファット旅費等
遺族見舞金	1,394,016	118,809	1,275,207	
旅行費用	50,652		50,652	土産等
諸費用	197,546	14,364	183,182	井戸、メダル等
キムさん招聘費		857,494	▲ 857,494	
諸団体へ寄付	1,143,500	252,000	891,500	
タイ・スラム奨学生支援	1,001,500	100,000	901,500	2018,2019 の 2 年分
チェルノブイリ医療支援	30,000	30,000	0	
S V A 協力金	112,000	122,000	▲ 10,000	
事務経費	2,846,364	2,677,151	169,213	
圓福印刷製本費	1,658,640	1,551,960	106,680	
圓福・礼状送料	715,368	656,420	58,948	
振替料金	110,903	44,236	66,667	
事務用品・コピー代	234,803	287,685	▲ 52,882	
発送日当	126,650	136,850	▲ 10,200	
その他	1,000,200	167,000	833,200	
義捐金	934,000	167,000	767,000	
その他	66,200		66,200	大黒天他諸費
支出計	13,373,349	4,086,818	9,286,531	
次期繰越金	4,948,887	4,545,622	403,265	

2020年度予算 (2020/4/1 ~ 2021/3/31)

収入の部	2020 予算	2019 予算	差 (2020-2019)	備考
繰越金	4,948,887	4,545,622	403,265	
会費	1,900,000	1,700,000	200,000	
S A B A 寄付金	2,500,000	2,200,000	300,000	
校舎建設資金	100,000		100,000	
エコ村支援寄付金	250,000	150,000	100,000	
災害義捐金	200,000	500,000	▲ 300,000	
大黒天祈禱料	200,000	250,000	▲ 50,000	
その他	30,000		30,000	
収入合計	10,128,887	9,345,622	783,265	
支出の部				
カンボジア支援小計	4,100,000	4,600,000	▲ 500,000	
校舎等建設基金	3,000,000	3,000,000	0	
エコ村支援	500,000	500,000	0	井戸、ソフトウェア・キム旅費等
遺族見舞金		500,000	▲ 500,000	
その他費用	600,000	600,000	0	
諸団体支援協力金小計	752,000	752,000	0	
タイ・スラム奨学生支援	600,000	600,000	0	ブラティブ財団行事会
チェルノブイリ医療支援	30,000	30,000	0	
SVA協力金	122,000	122,000	0	
事務経費小計	3,170,000	3,000,000	170,000	
圓福印刷製本費	1,800,000	1,800,000	0	
圓福・礼状送料	750,000	700,000	50,000	
振替料金	120,000	50,000	70,000	
事務用品・コピー代	350,000	310,000	40,000	
月刊誌等発送日当	150,000	140,000	10,000	
その他小計	2,106,887	993,622	1,113,265	
義捐金	200,000		200,000	
その他支援金	50,000	250,000	▲ 200,000	
予備費	1,856,887	743,622	1,113,265	
支出率	10,128,887	9,345,622	783,265	

敬愛信

新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で、皆様いかがお過ごしでしょうか。

小生、予定されていた外の会議や、寺の行事など、すべて中止になりました。毎日、愛育園とお寺の往復です。

円福寺愛育園では、新型コロナウイルスを入れないように細心の注意をはらっています。長野市でも感染が始まり、とってもし心配です。早く感染が収まりますように。

カンボジアの様子

キムさんから、カンボジアの

様子が届きました。

先生 おはようございます！
ご心配させて申し訳ございません！

メールの返事も遅くなって申し訳ございません！

私達は元気です ちよつとだけ風邪をひきます でも大丈夫です

先生とご家族と他の皆様は元気ですか？

カンボジアではコロナウイルスが広がっています 今 政府の発表だとコロナウイルスをかかっている人は122人です 死亡した人はいません！ 今カンボジアの人の考えだと コロナウイルスをかかっている人はもつといると思っています。みんな どこに行ってもコロナウイルス、コロナウイルスの事

ばかりを話しています。マスクアルコールも高くなっています。今年のお正月や他のお祭りは全部キャンセルになっています。たくさんの方の集合やコンサートは全部禁止、学校も全部しまっています 県から県へ移動する事ができません。私のお母さんの家はバンテイメンチャイ県にあります。奥さんの家はバタンバンにあります。こんなに近いのにお母さんの家に行けないです。県の境界線にボリスが見張っています

ドントン学校のお手洗いと看板についてご心配しないでください。少し良くなったら 行きます。お手洗いの材料は全部学校につきました。

先生と皆様ぜひお氣をつけてくださいね。
ではお元気で。

私から「カンボジアは、観光収入が大きいので、コロナで観光客が来ないのは、大変ですね。ガイドの仕事はないでしょう。」に答えて

今カンボジアの経済は良くないです、私も不安定です。今観光客はいません。ガイドの仕事はないです。コロナウイルスをうつらないように、私はお正月の前にバタンバンに戻ってきました

アヒルの仕事は大丈夫です。今ガイドの仕事よりアヒルのほうがずっとずっといいです。

でも良かったです。もしガイドだけでやったら、今どんなに大変になるかわかりません。

早くコロナウイルスがなくなつて欲しいですね。それがなくなつたら、すべての事がもと

に戻ると思います

先生も皆様もお気をつけてください。ね、病気になるように祈っています。ではお元気で。

感謝のお知らせ

○令和二年四月分

(三月二十六日～四月二十五日)

●SABA資金

(茨城県)

(山梨県)

(千葉県)

(埼玉県)

(長野県)

(愛知県)

●エコ村支援

(東京都)

(埼玉県)

様様様 様様様様様様様様様様様様様様様様様様

(長野県)

●おもいやりの会

(神奈川県)

(長野県)

●台風19号被災地義損金

(山梨県)

●太平洋護持会費

(長野県)

ご協力ありがとうございました。

五月の法母会

六月の参禅会

新型コロナウイルスによる非常事態宣言を受けて、中止します。

『円福』

令和2年5月号

第四七六号

定価 一五〇円

発行日 令和2年5月10日

発行人 藤本光世

発行所 円福友の会

〒388-8005 長野市篠ノ井横田円福寺

TEL 〇三〇二九二一〇三八一

FAX 〇三〇二九三一九六二九

振替口座

〇〇五二〇一七一六二五六

様様様 様様様様様様様

円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

カンボジア小学校校舎建設

カンボジア エコ村支援

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

大災害被災地支援

シャンティ国際ボランティア会協力

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

太平観音堂護持発展

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520—7—16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

enpuku2@janis.or.jp